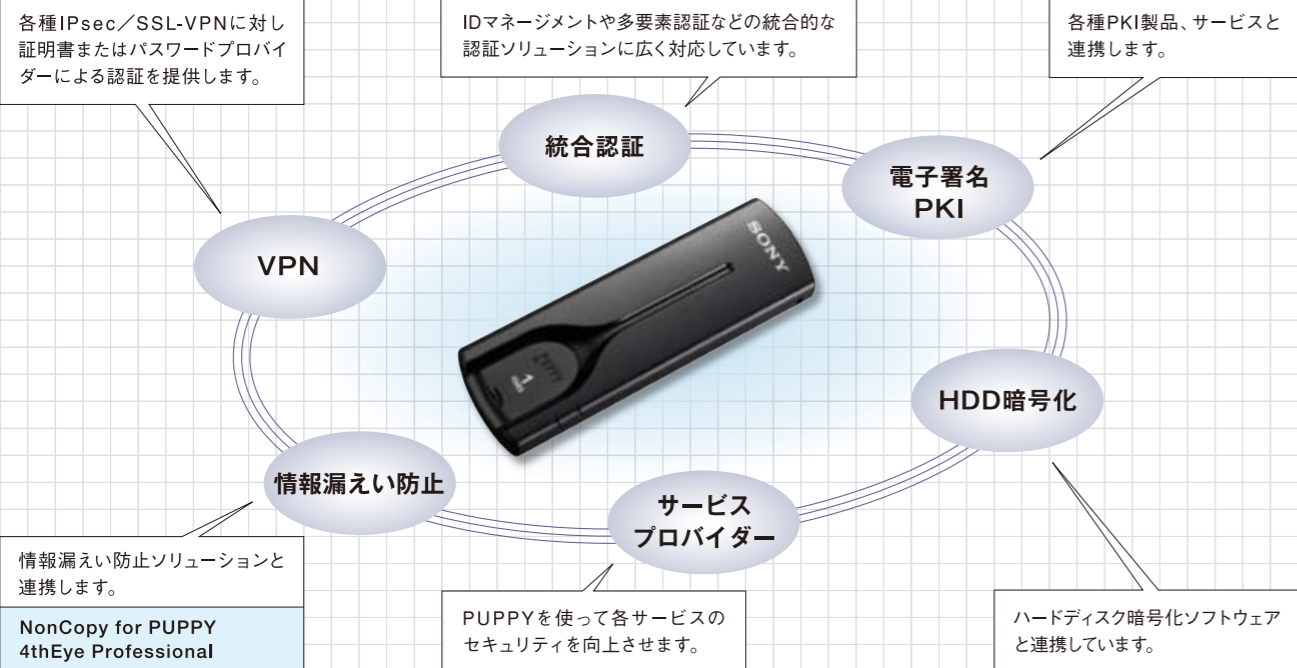


さらに広がるPUPPYワールド



個人情報漏えい防止に有効な、HDD暗号化ソフトと連携



PuppySuite 810 商品構成

| | | |
|--|---|--|
| <p>PuppySuite 810 パーソナル版</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FIS-810-S01 (メディア) ● FIS-810-L01 (ライセンス) <p>※WindowsVista®には対応していません。</p> | <p>PuppySuite 810 エンタープライズ版</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FIS-811-S01 (クライアントメディア) ● FIS-811-L01 (クライアントライセンス) ● FIS-811-M21 (管理者用メディアライセンス) | <p>FIU-800 シリーズ用 SDK</p> <p>デバイスをコントロールするAPIを提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Basic 版 ● Standard 版 ● Advanced 版 |
|--|---|--|

■主な仕様

| | | | | | |
|----------|---|---------------------|------------|------------|-------------------|
| 機種名 | FIU-880-C04/FIU-850-C04/FIU-850-D04/FIU-800-C04 | | 指紋照合部 | 照合方式 | パターンマッチング方式 |
| サイズ | 30mm(W)×93mm(L)×11mm(H) (重量26g・単体、ケーブルは含まず) | | 登録指紋データサイズ | 登録指紋データサイズ | 576Bytes/指 |
| インターフェイス | Hi-Speed USB (USB 2.0準拠) | | 照合時間 | 照合時間 | 140ms以下 |
| 電源電圧 | DC5V (USBより供給) | | 暗号機能 | RSA | 512/1024/2048bits |
| 消費電力 | 1.5W以下 | | | DES | DES, Triple DES |
| 指紋センサー部 | 方式 | 静電容量方式 | メモリー部 | 8GB | FIU-880-C04 |
| | 画素数 | 128pixels×192pixels | | 1GB | FIU-850-C04 |
| | 画素サイズ | 80µm×80µm | | 1GB | FIU-850-D04 |
| | センサーエリア | 10.2mm×15.4mm | | 0 (認証専用) | FIU-800-C04 |
| | | | 使用温度範囲 | 5-35℃ | |

※パソコンから電源供給を受けるタイプのハブを介しての接続はできません。※指紋の薄い方、乾燥した指の方は、登録・照合がしにくい場合があります。

安全に関するご注意 商品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。

●4thEye Professional, NonCopy for PUPPY はサイエンスパーク株式会社のソフトウェアです。対応OS: Windows 2000 SP4, Windows XP SP2およびSP3, Windows Vista® ※詳しくはPUPPYのWebページをご覧ください。
 ●McAfee Endpoint Encryptionは米国McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標または商標です。●SecureDocは、カナダ WinMagie 社の登録商標です。
 ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。●PUPPY (パピー)、PUPPYSUITE (パピースイート) はソニー株式会社の登録商標です。
 ●Windows®, Microsoft Officeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。●4thEye, NonCopyはサイエンスパーク株式会社の登録商標です。
 ●一般に記載の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
 ●Puppy Suite 810はOpenSSL ToolkitのためにOpenSSLプロジェクトが開発したソフトウェアを含みます。
 This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.OpenSSL.org/)
 Copyright © 1998-2004 The OpenSSL Project. All rights reserved.
 Puppy Suite 810は、Eric Young氏によって記述された暗号ソフトウェアを含みます。This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

ソニー株式会社 コンシューマプロダクツ&デバイスグループ デバイスソリューション事業本部
 レコーディングメディア事業部 プロメディア&ストレージMK部
 お問い合わせ窓口
 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎イーストタワー
 ソニー株式会社 大崎東テクノロジーセンター
 TEL.03-5435-3773 FAX.03-5435-3036
 URL http://www.sony.co.jp/puppy/

Printed in Japan カタログの記載内容: 2009年08月現在

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
 〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403
 武蔵小杉タワープレイス
 TEL 044-739-1251
 E-mail: ssl-info@cs.jp.fujitsu.com
 URL: http://www.ssl.fujitsu.com/

SONY

ストレージ付指紋認証トークン
 FIU-800シリーズ

PUPPY

トークンとバイオメトリクスの
 長所をあわせ持つ認証デバイス、
 それがPUPPYです。

ソニーのストレージ付指紋認証トークンPUPPYは、
 スティックタイプのコンパクトなボディに、指紋認証
 機能、PKI対応機能、さらに最大8GBのセキュアUSB
 メモリーを搭載し、それぞれの機能が有機的に結合
 して確実な個人認証、データ保護を実現します。



指紋認証機能
 機器内照合



PKI
 トークン機能
 電子証明書・秘密鍵

セキュア
 USBメモリー機能
 指紋認証十常時暗号化

8 GB
 1 GB
 メモリーなし
 認証専用

情報を守り、組織を守り、あなたを守る。
 セキュリティ対策の第一歩は、確実な個人認証です。

パスワードレスで、ワンタッチ運用を実現。 指紋認証がさらに強固に、さらに使いやすく。

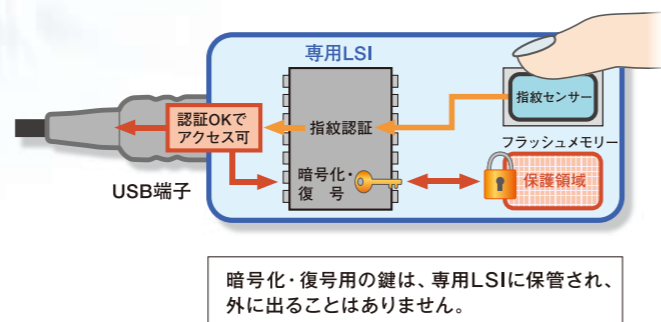


PUPPYの多彩な機能を支える、 自社開発の基盤技術。

ソニー開発

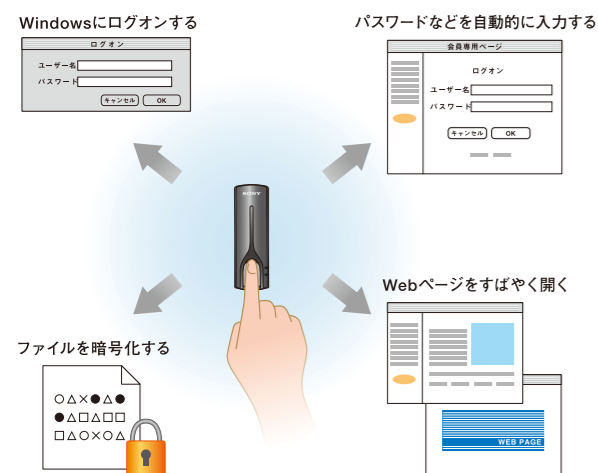
- ・半導体センサー
- ・専用LSI
- （照合エンジン
PKIエンジン
照合アルゴリズム

- 独自の照合アルゴリズムを組み込んだ専用LSIを開発。高速で高性能な照合を実現しています。
- 登録と照合の**すべてを機器内で処理**するので、指紋情報がPUPPYから外に出ることはなく、**安全**です。
- 指を置くだけの扱いやすいエリアセンサーを採用しています。
- フラッシュメモリー書き換えは全メモリー領域へ平準化することで、メモリー寿命をのばしています。



専用ソフトウェアPuppySuiteで実現する 指紋認証機能

多彩なセキュリティ機能が、ワンタッチでご利用いただけます。



Windowsログオン

PUPPYに指を載せるだけで、安全にWindowsにログオンできます。ドメインへのログオンも可能です。

VPN/Web/アプリケーションログオン (パスワードプロバイダー)

ユーザー名、パスワードはPUPPY内部の秘匿エリアに記憶し、指紋照合によって自動入力することができます。

コンピュータのロック解除

設定により、指紋でコンピュータのロックを解除することができます。

ファイル暗号化

PC内のファイルを指紋認証により暗号化して、他人に読まれないようにすることができます。

Webアクセス (フィンガークリック)

登録したWebページにワンタッチですばやくアクセスできます。URLはPUPPY内部のメモリーに記憶されます。



USBメモリーを指紋で守る セキュアUSBメモリー機能*

高い機密性が求められる業務用セキュアメモリーとして安心してご利用いただけます。

保護領域を指紋でロック

搭載している大容量フラッシュメモリーは指紋で保護できる領域を設定できます。指紋認証に成功しない限りこの領域はロックされたままなので使えません。

PUPPYは暗号化した保護領域を持つUSBメモリー

保護領域内のファイルは常時ハード暗号化されており、しかも保護領域全体を暗号化しますので、ファイル自体を取り出すことができず、大切なデータを安全に持ち運ぶ事ができます。

指紋データが流出しない

指紋認証はPUPPY内で完結。指紋情報は特別なエリアで保護されますので、外部に出る事はありません。万一紛失しても安心です。

ドライバソフト不要で、どこでも使える

指紋認証はPC上のソフトウェア処理ではなく、PUPPY内部の照合エンジンで行うため、PUPPYを付属ケーブルでUSBポートに差し込むだけで、多様なPC (MacやLinux等) で利用可能です。(検証済バージョン等はお問い合わせください)

強固なデータ保護機能

ポイントA 指紋が合わないと、コンピュータはデータ保護領域を認識しません。

ポイントB 保護領域のデータは、つねにハード暗号化されています。

| | |
|------|---|
| 保護領域 | 指紋認証によるセキュリティで保護されるエリアです。データは常時暗号化されています。 |
| 一般領域 | 通常のUSBフラッシュメモリーとして自由に利用できるエリアです。 |

*FIU-800-C04 (メモリーなしモデル) はこの機能は使用できません。
*FIU-850-D04 (メモリー専用モデル) はこの機能のみご使用できます。



秘密鍵を指紋で守る PKIトークン機能

PKI*トークンに指紋認証による本人認証を導入。より安全で確実な運用を実現します。

*公開鍵暗号基盤 (Public Key Infrastructure) の略

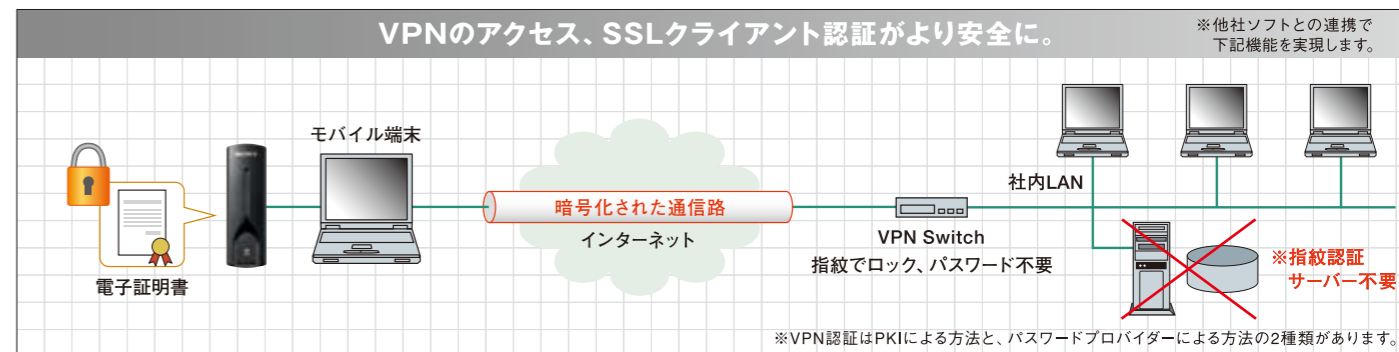
一般にPKIで使われる電子証明書・秘密鍵はPC内のHDDに保管されているため、盗難のリスクがあります。PUPPYなら、PUPPY内部の専用領域に保管し、指紋認証によってのみ利用が可能になりますから、PKIをより安全に利用できます。

■一般的なPKI運用の場合

秘密鍵をPCのHDDまたはUSBトークンなどに保存。パスワードを知る誰もが利用可能で、なりすましの危険が残ります。

■PUPPYの場合

秘密鍵をWindowsファイルシステムからアクセスできないPUPPY内部の専用領域に保存。本人のみが利用でき、安全性が向上します。



PuppySuite 810エンタープライズ版なら、管理者はユーザー動作の規定や、各種設定を容易に行うことができます。企業や団体など多くのユーザーがPuppySuiteを利用する場合に最適です。
※個人でご利用の方のために、「PuppySuite 810 パーソナル版」も用意しています。



セキュリティ管理者の方へ

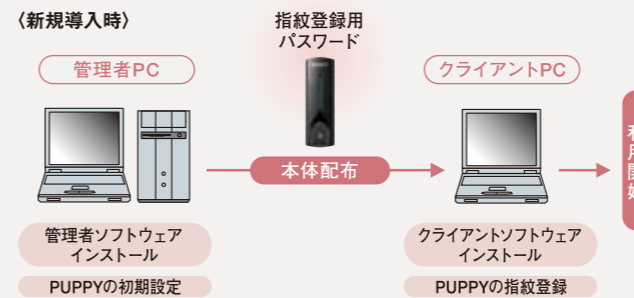
管理機能も充実。円滑で確実な運用をサポートします。

PuppySuite 810 エンタープライズ版は、充実した管理機能を提供。スムーズな導入、安全・確実な運用を支援します。

■スムーズな導入のために。

クライアントユーザー用PUPPYのポリシー設定

クライアントに配布するPUPPYに、ユーザーの初期設定を行うことができます。初期設定後は、ユーザー本人が指紋登録が可能。登録指紋は管理者の許可なしに変更できない設定も可能です。



セキュリティレベルのカスタマイズ

指紋登録可能な本数の制限、本プログラムアンインストールの許可権限など、ユーザーに配布するPUPPYの権限や制限を設定できます。

パスワードプロバイダーデータ、Windowsログオン情報の作成

クライアントユーザーに配布、配信するためのパスワードプロバイダーデータや、Windowsログオン情報を作成することができます。

クライアントPUPPYデータ更新機能

クライアントユーザーに配布するPUPPYにあらかじめ電子証明書、パスワードプロバイダーデータ、Windowsログオン情報をインポートできます。配布後にFTPにより、データを更新することも可能です。

■情報漏えい対策をさらに強化。万一の盗難、紛失時にも安心です。

電子証明書の運用ルールを設定

証明書 (秘密鍵) エクスポートの禁止、ユーザーによる指紋や証明書の追加の制限などのルールを設定できます。あらかじめPUPPYに証明書を組み込んで配布することも可能です。

保護領域の運用ルールを設定

保護領域のサイズの設定、ユーザーによる保護領域のサイズ変更を禁止するなどのルールを設定できます。

ドライブON/OFF設定機能、ドライブ使用不可の設定機能

出荷時には一般領域/保護領域の2ドライブ設定となっていますが、以下のようにより切り替えることができます。

- ①一般領域、保護領域の2ドライブ、
- ②一般領域だけの1ドライブ、
- ③保護領域だけの1ドライブ

また、メモリーとしての機能を必要としない場合、ドライブを使用不可とする設定も可能です。

ライトプロテクト機能

管理者および許可されたユーザーは一般/保護の各領域に対して、読み取り専用とする「ライトプロテクト」をかけることができます。

連続認証失敗時にデータを自己消去

紛失・盗難時のデータ流出を防ぐため、認証の連続失敗の回数を設定し、その回数に達した時の動作を以下の4つから選択して設定できます。

- ①PUPPYによる認証をロック、
- ②保護領域データを消去、
- ③認証をロックして保護領域データを消去、
- ④PUPPY内の全データを消去